




# 横須賀市 都市計画道路 整備プログラム



 横須賀市  
令和4年4月

# 都市計画道路整備プログラムの策定の背景と目的

都市計画道路は円滑な移動の確保を担うだけでなく、災害時の防災性の向上や良好な都市環境を形成するために、都市の骨格を形成する主要な都市施設として「都市計画」に定める道路で、日常生活に必要不可欠な役割を担っています。

横須賀市の都市計画道路は、昭和9年7月27日に市内環状線 他 18 路線が計画決定されてから現在 46 路線、約 176.42km が都市計画決定されており、順次整備を推進してまいりましたが、整備率は 63.2%（令和3年度3月時点）にとどまっています。

都市計画道路整備プログラムは、本市が整備する予定の路線について、その整備を計画的・効果的に進めることを目的として策定いたします。

## 優先的に整備すべき路線の考え方

本市の都市計画道路は高度経済成長期に都市への人口増加と交通量の増大などに対応するために多くの路線が都市計画決定され、整備を進めてきましたが、計画決定当時とはまちづくりの考え方が大きく変化し、人口減少などに対応したコンパクトで歩いて暮らせる集約型都市構造へ転換しています。

また、厳しい財政状況による公共投資等の減少等、道路を取り巻く社会情勢も変化しており、道路に求められる真に必要な機能を検討・整備をする必要があります。

都市計画道路の整備においても将来交通量推計に基づく費用便益分析を行い、社会的な有益性を主眼に置き、様々な機能から見た必要性など複数の観点から総合的に優先順位の設定を行うこととしています。

## 都市計画道路整備プログラムにおける整備時期の設定

### ①事業化の熟度

地元や関係機関との協議が進行中であり、継続的に事業化の検討を行っている路線・区間や、事業化の機運が高まっている路線・区間は「短期」として位置づけます。また、関連計画の事業時期が未定の場合、関係する都市計画道路の整備時期については「長期」とします。

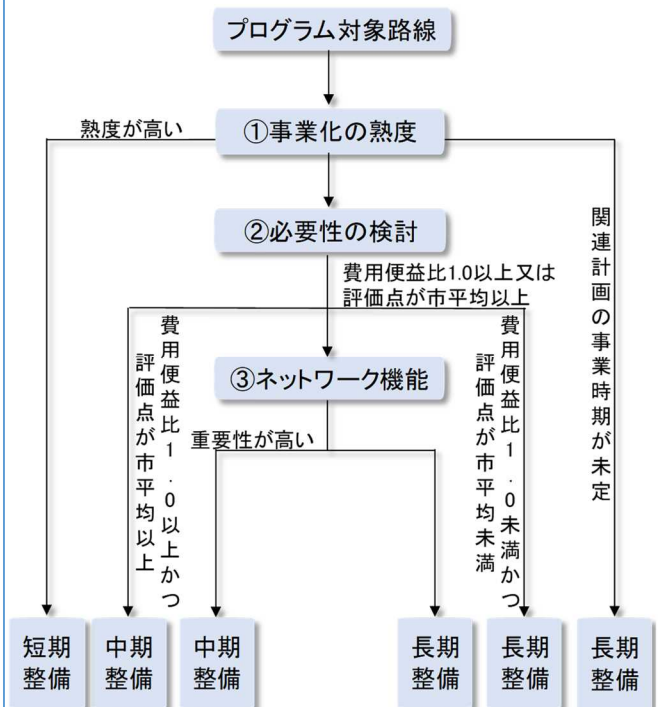
### ②必要性の検討

主に交通量に起因した便益（効果）を貨幣換算し、投入する事業費との対比として得られる費用便益比と都市計画道路の見直しにおいて設定した都市計画道路の役割・機能の7項目 22 指標の評価点を合算して算出する必要性による評価点を用いて選定します。

費用便益比が 1.0 以上かつ評価点が市平均以上であれば「中期」、1.0 未満かつ市平均未満であれば「長期」として位置づけます。

### ③ネットワーク機能

当該区間単独の整備により効果が期待できる路線、隣接する区間と合わせた整備が必要となる路線、さらに、複数の区間を含め路線全体の整備により効果が期待できる路線は重要度が高い路線として、「②必要性の検討」の中で費用便益比と必要性による評価点のどちらかが基準を下回る路線であっても「中期」として位置づけます。





# 都市計画道路整備プログラム

👉 **短期整備路線** 優先して事業化が望まれる路線    👉 **中期整備路線** 短期整備路線の整備完了後の事業化が望まれる路線    👉 **長期整備路線** 必要性や事業性の再検証を行う必要がある路線

## 【短期整備路線】 優先して事業化が望まれる路線

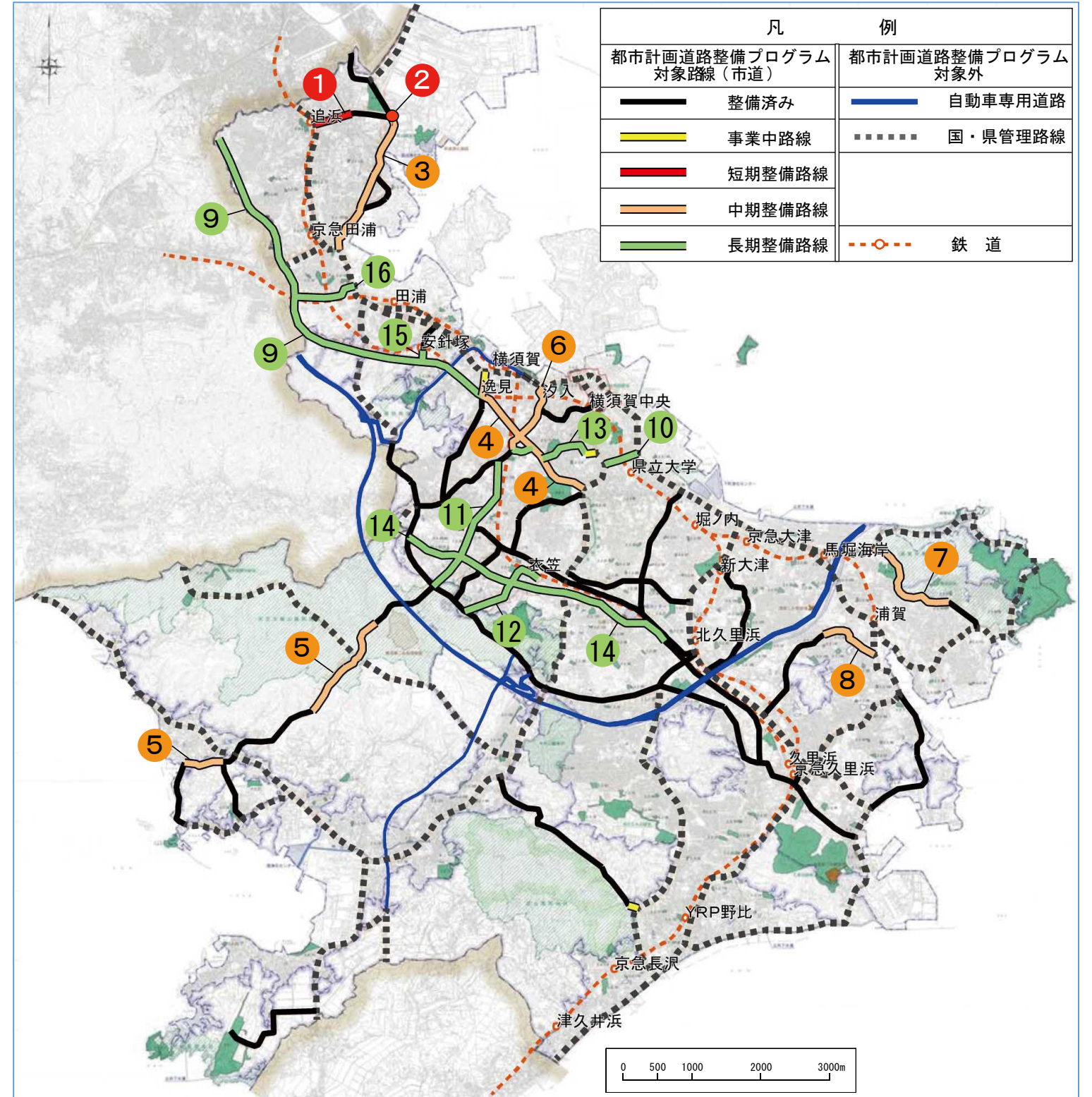
番号	路線名	延長 (m)	幅員 (m)	区間
1	3・3・9 追浜夏島線	500	27	追浜町3丁目(追浜駅前交差点)～ 追浜東町3丁目(追浜歩道橋交差点)
2	3・3・10 船越夏島線	-	-	夏島交差点

## 【中期整備路線】 短期整備路線の整備完了後の事業化が望まれる路線

番号	路線名	延長 (m)	幅員 (m)	区間
3	3・3・10 船越夏島線	2,400	22	船越町1丁目(船越1丁目交差点)～ 夏島町(夏島交差点)
4	3・3・11 市内環状線	2,225	18～22	東逸見町1丁目(鹿島神社入口交差点)～ 上町4丁目(鶴久保小学校前交差点)
5	3・4・5 坂本芦名線	2,190	14～16	芦名3丁目(大楠隧道)～ 芦名1丁目(芦名橋付近)
6	3・5・1 横須賀葉山線	950	15	汐入町2丁目(汐入駅)～ 坂本町2丁目(坂本坂上付近)
7	3・6・4 馬堀鴨居線	1,680	11	馬堀町4丁目(馬堀小学校前交差点)～ 小原台(ケンコウ幼稚園付近)
8	3・6・5 浦賀舟倉線	880	11	浦賀5丁目(浦賀丘入口交差点付近)～ 浦賀5丁目(51番付近)

## 【長期整備路線】 必要性や事業性の再検証を行う必要がある路線

番号	路線名	延長 (m)	幅員 (m)	区間
9	3・3・6 逸見鷹取山線	6,080	22	東逸見町2丁目(逸見駅付近)～ 湘南鷹取5丁目(横浜市境)
10	3・3・11 市内環状線	480	22	安浦町1丁目(安浦2丁目交差点)～ 上町3丁目(上町3丁目交差点)
11	3・4・5 坂本芦名線	2,130	16	坂本町3丁目(坂本郵便局付近)～ 平作4丁目(平作4丁目交差点)
12	3・4・8 衣笠平作線	1,280	16	小矢部2丁目(衣笠駅南付近)～ 平作3丁目(久里浜田浦線)
13	3・5・2 上町坂本線	1,010	15	上町2丁目(うわまち病院前)～ 坂本町1丁目(坂本交番前交差点)
14	3・6・6 久里浜阿部倉線	4,090	12～16	森崎2丁目(森崎踏切付近)～ 阿部倉(久里浜田浦線)
15	3・6・8 安針塚駅前通り線	210	11	長浦町4丁目(安針塚駅付近)～ 長浦町3丁目(112番地付近、逸見鷹取山線)
16	3・6・9 田浦逗子線	890	11	田浦町5丁目(田浦町5丁目交差点)～ 田浦町5丁目(逗子市境)



注) 上図に示した都市計画道路事業箇所は、今後着実な整備を目指してまいります。社会経済状況や市内交通動向の変化により、必要に応じて事業箇所や着手時期などの見直しを行ってまいります。



## 都市計画道路の見直しを踏まえた今後の検討事項

整備プログラムと連動して検討した都市計画道路網の見直しでは、事業性の観点による継続的な取組みが示されています。これを踏まえ、本整備プログラムで示した短期、中期、長期整備路線についても、以下の点を勘案し、事業内容の具体化や事業箇所を選定が必要です。

### 【短期整備路線の検討方針】

#### ●道路構造の具体的な検討

幅員や線形の具体的な道路構造の検討に加え、交差道路や接続道路についても必要な道路構造の検討を行い、事業内容の具体化を図ります。

#### ●事業費縮減のための方策の検討

事業内容の具体化を図る際には、事業費縮減を念頭に置き、既存ストックの有効活用により、取得用地の縮減や工期短縮について検討します。

### 【中期整備路線の検討方針】

#### ●整備効果の早期発現

既存の道路の改良や短区間の整備で効果が発現、あるいは、ネットワーク化が図られることで相乗効果が見込まれる区間など、事業着手から早期に整備効果が期待できる区間を選別します。

#### ●地域の実状を踏まえた必要なサービスの提供

自転車利用の増加や安全性への期待など、道路に対するニーズの変化が予想され、地域の実情を的確に捉え、必要なサービスを提供するために事業箇所および事業内容の検証が必要です。

#### ●事業期間短縮や事業費削減

見直しにおいても、事業期間短縮や事業費縮減の観点から、線形や幅員の見直しを検討することとしており、この検討結果を踏まえた事業箇所を選定が必要です。

### 【長期整備路線の検討方針】

長期整備路線は、都市計画道路の見直しにおいて「事業の見込みがたたない」として「留保付き存続」と位置づけ、廃止された場合の影響を検証し、合理的な意思決定を行うこととしています。従って、この検証結果を踏まえ、必要性や事業性の再検証を行い、廃止を含めた事業内容の見直しなど、適切な判断を行うことが必要です。

## 都市計画道路整備プログラムの今後の見直し

昨今は、公共事業、とりわけ道路事業の必要性や事業執行の効率性・透明性に対する指摘が多くなっています。また、人口減少期にあつて、これまで以上に中長期を見定め、事業目的と地域社会に与える便益を確認し、限られた財源を配分する判断が求められています。

そこで、検討の前提条件が変化した場合や、市内の道路交通状況や市民の道路整備に対するニーズに変化が生じた際には、取り巻く環境変化を柔軟に受け止め、適切な見直しを行うことが重要と考えています。



横須賀市

横須賀市 建設部 土木計画課

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL : 046-822-9526 FAX : 046-827-8824

リサイクル適正 (A)

本印刷物は、グリーン購入法に基づく令和4年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。